



防災対策として橋梁震災対策を実施します



昨年度の成果

工法の工夫等により当初の予定以上の箇所について対策を実施できたため、目標を達成することが出来ました。

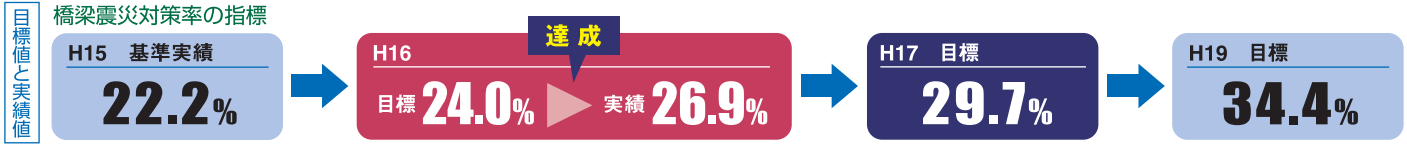
代表的な事業	評価	事業の説明
海田高架橋（一般国道2号）	😊	落橋防止および橋脚補強を実施しました。
長谷橋（一般国道2号）	😊	落橋防止および橋脚補強を実施しました。

今後の取り組み

今年度から『緊急輸送道路^{※1}の橋梁耐震補強3箇年プログラム』として、直轄国道の耐震補強を実施します。特に優先的に耐震補強を実施する必要がある橋梁について、平成19年度までの3箇年で概ね完了するよう対策を実施していきます。

代表的な事業	事業の説明
平野橋（一般国道2号）	落橋防止および橋脚補強を実施します。

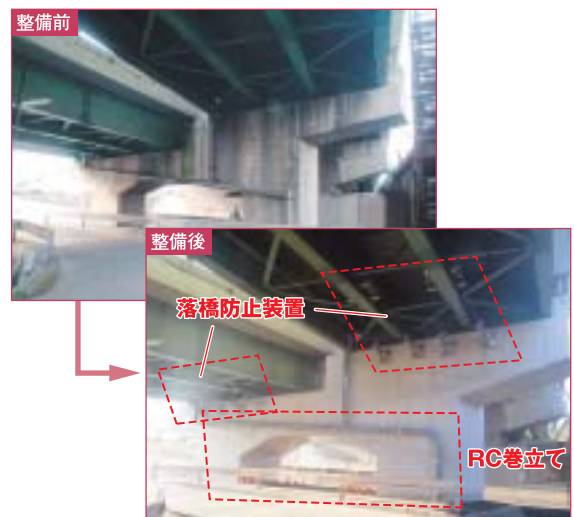
橋梁震災対策率の指標



昨年度の成果 海田高架橋（一般国道2号） 達成



目的 古い設計基準の橋梁の耐震補強
対策 落橋防止、橋脚補強により、阪神・淡路大震災クラスの地震に耐えられる構造にしました。

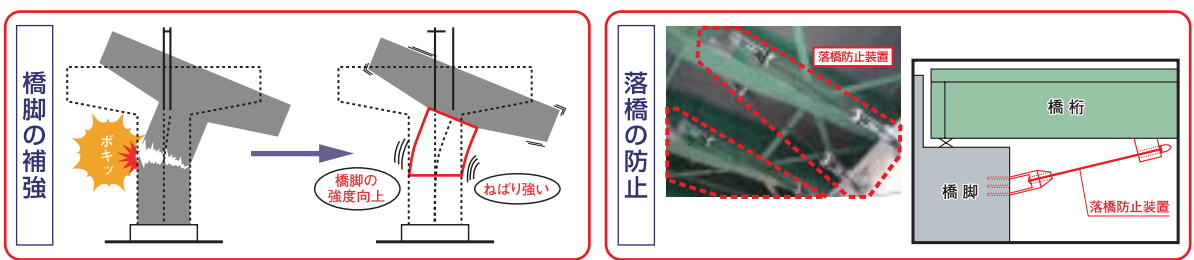


平成17年度の取り組み 緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム

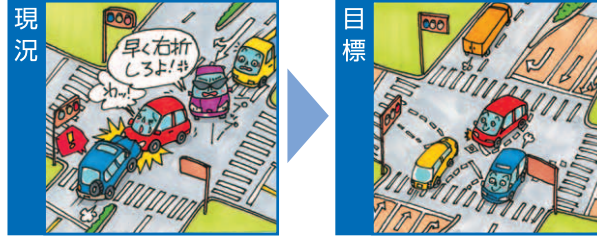


緊急輸送道路のうち特に重要な路線について、古い設計基準等で設計した橋梁の耐震補強を平成19年度までに概ね完了するよう対策を実施します。

目的 落橋などの甚大な被害を防止し、緊急輸送道路としての機能確保を図ります。
対策 阪神・淡路大震災クラスの地震に対しても橋梁の損傷を限定的なものにとどめるよう、橋脚補強・落橋防止装置の設置を行います。



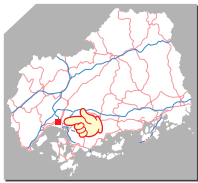
運転していてハラハラするような道路を少なくします



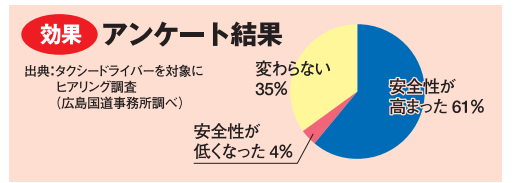
安全

運転していてハラハラするような道路を少なくします

昨年度の成果 観音高架橋(一般国道2号) 達成



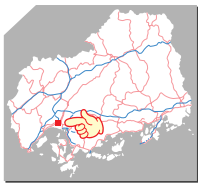
- 目的** 多発する人身事故の減少
(幅員が広く速度を超過する車両が多いため人身事故が多発)
- 対策** 走行車両の減速を促すための減速区画線、追突注意をよびかけるマークの設置を行いました。
- 効果** 交通事故件数が約45%減少しました。アンケートでは、利用者の約6割が安全性が高まったと回答しています。



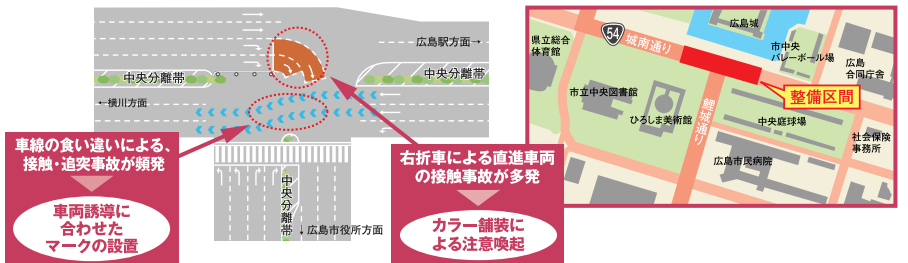
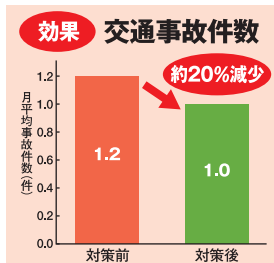
観音高架オランプ部は、幅員が広く速度超過する車両が多いため人身事故が多発

減速区画線の設置や追突注意を呼びかける路面標示

昨年度の成果 広島城南交差点(一般国道54号) 達成



- 目的** 交差点内で多発する事故を減少
(交差点内で直進車線がシフトしていることから、交差点通過車両の走行軌跡が不安定となり接触・追突事故が発生)
- 対策** 車両誘導にあわせたマークを路面に設置、右折車線をカラー舗装しました。
- 効果** 交通事故件数が約20%減少しました。



安全性の向上

道路交通における死傷事故率

昨年度の成果

各種事故対策事業を行いました。広島県全体では目標を達成することが出来ませんでした。しかしながら、個別の対策をみると効果が発現している事業がありました。

代表的な事業	実績	評価	事業の効果
観音高架橋（一般国道2号）	約45%減少	😊	事故件数は大幅に減少しました。
虹山団地入口交差点（一般国道191号）	約50%減少	😊	事故件数は大幅に減少しました。

事故対策の評価にあたって…

ドライバーの不注など様々な要因が複雑に絡んでいるケースがみられるため、一概に事故件数のみで評価することは難しいと考えております。基本的には、利用者の方々の率直な意見が対策の評価になると考えられるため、現在、利用者意識の変化を加味できる評価指標に変更することを検討しています。

今後の取り組み

事故発生要因の分析などを通して、地域の現状を把握し対策を行っていきます。

代表的な事業	事業の説明
広島インター北交差点（一般国道54号）	照明の設置や路面標示を行います。
安芸郡海田町（一般県道広島海田線）	二輪車専用レーンを廃止し、歩道の幅員を拡大します。
福山新橋西詰交差点（一般国道2号）	減速区間の設置や路面標示を行います。

昨年度の成果 安芸高田市八千代町勝田地先付近（一般国道54号）



- 目的** 当該区間における事故の減少
- 対策** 減速区画線の設置を行いました。
- 効果** 対策後、現在までの事故発生件数が0件です。

減速区画線を引き、車線幅を狭く感じさせ、速度の抑制を図るとともに、ドライバーへの注意を喚起

効果 対策実施後、現在までの事故発生件数0件（平成17年8月現在）

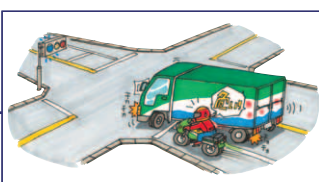


平成17年度の取り組み 安芸郡海田町（一般県道広島海田線）



- 目的** 沿道商業施設への右左折車と二輪車の接触事故の減少
- 対策** 二輪車専用レーンの廃止と歩道の拡幅を行います。

接触事故イメージ



広い二輪車専用レーンのため、二輪車の走行速度が速く自動車と二輪車の接触事故が多発

- 事故対策として
- 二輪車専用レーンの廃止
- 歩道の拡幅を行います



期待される整備効果

二輪車専用レーンの廃止により、二輪車の走行速度が低下し、自動車の右左折時における接触事故が削減されます。



大雨や台風などのとき、孤立する地域をなくしていきます



昨年度の成果

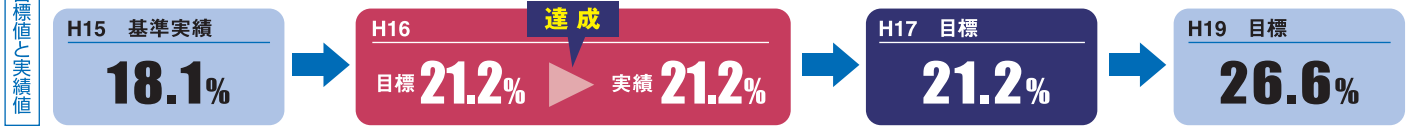
当初計画していた事業を予定どおり実施することができたため、目標を達成することが出来ました。

代表的な事業	目標	実績	評価	事業の説明
一般国道433号加計バイパス	6.1km	6.1km	達成	規制区間に並行する代替路線を整備しました。

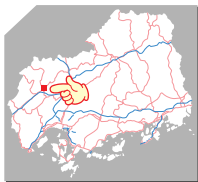
今後の取り組み

平成17年度は完成予定の事業がありませんが、一般国道375号作木大和道路(平成18年度供与予定)の完成に向けて事業をすすめていきます。

事前通行規制区間等における代替路線の整備率の指標



昨年度の成果 一般国道433号 加計バイパスの整備 達成



- 目的** 災害発生などによる事前通行規制時の代替路線を確保します
- 対策** 規制区間に並行してバイパス整備を行います。
- 効果** 通行規制時にバイパス利用が可能となり、交通寸断などの弊害をなくしました。



- 事前通行規制区間^{※13}(県の管理する国道)
- 事前通行規制区間(国の管理する国道)
- H16年までの解消済み路線
- H19年までの解消予定の路線

平成17年度の取り組み 平成19年度に向けての取り組み事業

平成17年度は完成予定の事業がありませんが、平成18年度の作木大和道路の供用に向けて、事業の進捗率を向上させていきます。